

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	伊禮・大城(政)	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、手引きの読み合わせ、講話、リレーションなど			25
	2	【性教育】 助産師の方を招いての講話			2
	3	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			3
	4	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			5
	合計時間数				35
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	情報処理演習	担当者	伊禮・大城(政)、他	科目必修区分	必修
授業概要	情報処理技術者試験の模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	・情報処理技術者試験に合格				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	次年度4月(春期対策)試験①			6
	2	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	3	次年度4月(春期対策)試験②			6
	4	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	5	次年度4月(春期対策)試験③			6
	6	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	7	次年度4月(春期対策)試験④			6
	8	次年度4月(春期対策)試験解説			12
	9	次年度4月(春期対策)まとめ			10
	合計時間数				85
教科書	過去問題、模擬試験(ウイネット・TAC・アイテック)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論	担当者	伊禮・山川・赤嶺 大城・今頭	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる</li> <li>・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる</li> <li>・目的に応じてコンピュータの活用ができる</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【コンピュータ概論:1章】コンピュータの基礎知識			8
	2	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)			14
	3	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)			8
	4	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)			14
	5	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)			8
	6	【6章】マルチメディア			10
	7	【7章】AI(人工知能)			10
	8	【8章】アルゴリズムとデータ構造			10
	9	【マネジメントと情報化:1章】システム開発とは(開発の流れ、要件定義など)			10
	10	【2章】サービスマネジメントとシステム戦略(サービスマネジメント、システム監査など)			23
	11	【3章】企業と経営戦略(企業活動、経営戦略手法、マーケティングなど)			10
	12	【4章】OR・IE(応用数学)			10
	13	【5章】企業会計			18
	14	【6章】法務と標準化(知的財産権、セキュリティ関連法規など)			10
	15	【システム開発技術:1章】データベース(データのモデル化、設計など)			10
	16	【2章】ネットワーク(ネットワーク方式、OSI基本参照モデルなど)			10
	17	【3章】情報セキュリティ(情報セキュリティ、暗号化技術など)			10
	18	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			20
	19	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			20
	20	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			30
	合計時間数				263
教科書	コンピュータ概論(ウィネット) マネジメントと情報化(ウィネット) システム開発技術(ウィネット) 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業出席20pt、単元テスト20pt、期末テスト30pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年				
授業科目	プログラム設計	担当者	赤嶺 達也、他	科目必修区分	必修				
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。</li> <li>・擬似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。</li> <li>・ファイル処理、文字列操作の処理が理解できる。</li> </ul>								
授業計画	内 容				授業時間数				
	1	第1章 アルゴリズム入門	アルゴリズムとは	データ型	1				
	2		領域の概念	三つの基本構造	練習問題	1			
	3	第2章 流れ図の基本パターン	流れ図(フローチャート)	連続型		3			
	4		選択型	反復型	練習問題	6			
	5	第4章(フローチャートのみ)	計算のアルゴリズム	合計平均		4			
	6		べき乗計算	最大最小抽出	練習問題	2			
	7	第5章 配列操作(フローチャートのみ)	配列	1次元配列の操作		4			
	8		1次元配列挿入、削除	2次元配列	練習問題	4			
	9	第3章 擬似言語の基本パターン	擬似言語とは	擬似言語の表記法		3			
	10		擬似言語の宣言部分、処理部分	練習問題		3			
	11	第4章(擬似言語のみ)	計算のアルゴリズム	合計平均		4			
	12		べき乗計算	最大最小抽出	練習問題	4			
	13	第5章 配列操作(擬似言語のみ)	配列	1次元配列の操作		3			
	14		1次元配列挿入、削除	2次元配列	練習問題	3			
	15	練習問題	サーティファイ2級1部レベル問題使用			5			
	16	期末テスト(前期)				2			
	17	第6章 探索のアルゴリズム	探索処理とは	線形探索法		7			
	18		2分探索法	ハッシュ表探索法	練習問題	7			
	19	第7章 整列のアルゴリズム	整列とは	基本選択法	基本交換法	基本挿入法	5		
	20		整列法の比較回数	シェルソート	再帰処理	クイックソート	マージソート	練習問題	5
	21	第8章 データ構造	構造型	リスト構造	スタックとキュー	木構造	練習問題	5	
	22	第9章 実践アルゴリズム	基数変換	経路選択	ファイル処理	文字列探索		6	
	23	練習問題	サーティファイ2級2部レベル問題使用				5		
	24	期末テスト(後期)					2		
	合計時間数					94			
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造(ウィネット)								
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度								
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト30pt、期末テスト30pt、検定試験得点20pt 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	実務家	備考							
実務経験紹介	IT業界(システムエンジニア歴含む)7年								

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナー I	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	社会に出る前準備として、必要となるマナー(ビジネスマナー)を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶がしっかりできる。</li> <li>・立場の違いを考えた言葉遣いができる</li> <li>・基本的な立ち居振る舞い、ビジネス電話の基本を身につける</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的など)			1
	2	ビジネスマナーの重要性			2
	3	社会人と学生の違い			2
	4	基本動作(立つ、お辞儀・挨拶、座り方、表情)			2
	5	電話対応(内線電話を受ける/取り次ぐ)			2
	6	訪問のマナー(教務室への入退室/受付での対応)			2
	7	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	8	報告・連絡・相談			1
	9	話の仕方・話の聞き方			1
	合計時間数				15
教科書	実践ビジネスマナー(ウイネット)				
時間外学習	課題の取り組み				
成績評価方法	ロールプレイング(20pt) 課題提出状況(20pt) 課題内容(20pt)				
	授業態度(20pt) 評価テスト(20pt)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力及び発揮できる力(人間力)であることを知り、永久戦力を目指すうえでの自己のあり方を考察する。				
到達目標	KBC学園の教育理念に掲げられた『人財』を目指し、人間性を磨き各自の『志』をたてるために『学生クレド』について理解を深め実行できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	序章:学習のねらいと目標			2
	2	第1章:感謝			2
	3	第2章:感動			2
	4	第3章:思いやり・気くばり			2
	5	第4章:明朗			2
	6	第5章:挨拶			2
	7	第6章:素直			2
	8	第7章:プラス思考			2
	9	第8章:チャレンジ精神			2
	10	第9章:永久戦力			2
		合計時間数			
教科書	志学 I・II (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	クレドに基づいた行動を意識し、自らの行動を振り返る				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	通年
授業科目	プログラミング言語 I (C言語)	担当者	大城(政)・與儀	科目必修区分	必修
授業概要	C言語のプログラミング技術について、基本的な文法から、アルゴリズムや構造化プログラミングを学習する。 講義ではC言語の基本的な知識を習得し、文法と特徴的な記述方法を学びます。実習では練習問題を通してプログラミングスキルを身に着けることを目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーティファイ主催C言語プログラミング能力認定試験3級、2級が取得できる。</li> <li>・簡単なソースコードを読むことができる。</li> <li>・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)			2
	2	C言語プログラミングの初歩(プログラムの書き方、実行方法)			2
	3	標準出力、文字と数値			4
	4	変数と型(識別子、変数の宣言)、標準入力			6
	5	式と演算子(演算子の種類、演算子の優先順位、型変換)			6
	6	中間試験			4
	7	条件分岐(関係演算子、if文、switch文、論理演算子、演習)			10
	8	繰り返し(for文、while文、do-while文、文のネスト、処理の流れの変更、演習)			10
	9	配列(配列の基本、マクロ、文字列と配列、多次元配列、演習)			10
	10	総合演習(基本文法を用いたプログラム作成、データの並べ替え)			10
	11	関数(関数の定義、プロトタイプ宣言、グローバル変数・ローカル変数、演習)			10
	12	前期 期末試験			4
	13	検定対策(C言語検定3級対策、模擬試験の実施、解説)			20
	14	ポインタ(アドレス、ポインタの基本、関数に引き渡す方法)			8
	15	配列とポインタの応用1(配列のアドレス、ポインタ演算、引数と配列、演習)			10
	16	配列とポインタの応用2(文字列とポインタ、動的メモリ確保、簡易演習)			10
	17	中間試験			4
	18	構造体(構造体の記述、構造体の応用)			4
	19	ファイル入出力(ストリーム、ファイルのオープンクローズ、ファイルからの入力・出力)			8
	20	総合演習(ファイルの入出力、探索アルゴリズムを使ったプログラム作成)			16
	21	後期 期末試験			4
	22	検定対策(C言語検定2級対策、模擬試験の実施、解説)			21
		合計時間数			
教科書	やさしいC 第5版 (SBクリエイティブ(株)) C言語プログラミング能力認定試験3級過去問題集 C言語プログラミング能力認定試験2級過去問題集				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト30pt、期末テスト30pt、検定試験得点20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習	担当者	大城(全)・赤羽	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームポジションでのタイピングができる</li> <li>・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの使用やデータ整理を含む)</li> <li>・Officeソフト(Excel・Word・PowerPoint)の基本操作ができる</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的など)			1
	2	第1章 いまさら聞けないWindowsの基礎			4
	3	第2章 インターネットとメール			8
	4	第3章 レポートをまとめる(Word) ※課題演習含む			20
	5	第4章 データを整理する(Excel) ※課題演習含む			20
	6	第5章 スライド資料を作る(PowerPoint) ※課題演習含む			20
	7	第6章 情報の検索と資収集、整理 ※課題演習含む			3
	8	タイピング練習			12
	9	パソコンの整理(不要なデータの削除など)			2
	合計時間数				90
教科書	学生のためのアカデミック情報リテラシー Office2016対応 noa出版				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題				
成績評価方法	課題提出状況20pt 課題完成度20pt レポート20pt 入力スピード20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習(HTML)	担当者	伊禮・山川	科目必修区分	必修
授業概要	インターネットの世界で必須のアプリケーションであるWebの概要と、構築に持ち入れられるHTMLの基礎、および周辺技術を理解することを目的とする。Web技術の基礎、HTML・CSSの基本的構文で様々な環境閲覧など学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットおよびWebの概要を説明できる。</li> <li>・HTML5の主な各要素の意味、記述方法を説明できる。</li> <li>・CSS3の表現方法と記述方法を説明できる。</li> <li>・簡単なWebページを作成することができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	1章 Webサイト制作の事前準備			1
	3	2章 HTMLの基本			10
	4	3章 CSSの基本			10
	5	4章 Webサイトの作成			10
	6	検定対策 : 過去問1回~5回(解説解答含む)			12
	7	検定試験受験 : サーティファイWebクリエイター能力認定試験			4
	8	5章 レスポンシブ対応			3
	9	6章 Webサイトの集客			3
	10	実習課題 : オリジナルWebサイト制作とプレゼンテーション			15
	合計時間数				69
教科書	ゼロからわかる HTML&CSS 超入門 Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	出席率・授業態度 20pt、チェックテスト 40pt、制作物 20pt、本試験 20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	久保玉井・今頭	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、講話、リレーションなど			3
	2	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			3
	3	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			4
	合計時間数				10
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	C言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通して、C言語を習得しハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C言語でプログラムを書けるようになる</li> <li>・EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる</li> <li>・チームでの作業を通じてチームワークを見につける</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(入出力、選択、反復、関数、配列、ポインタ)			30
	3	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			10
	4	EV3 プログラミング(Scratch)			15
	5	EV3 プログラミング(C言語)			60
	6	コース走行			40
	7	UML			15
	合計時間数				175
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外 学習					
成績評価 方法	授業態度30pt、課題提出40pt、評価試験30pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(クラウド)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	パブリッククラウドを利用し構築技術を体系的に学習することで、クラウドエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。また、dockerによるサーバ構築技術を学習することでコンテナ型仮想環境サービスを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリッククラウドの概要説明が出来るようになる。</li> <li>パブリッククラウドを用いて簡単なWebサービスのインフラ構築ができる。</li> <li>コンテナ技術を用いてアプリケーションコンテナの構築や公開ができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	基礎座学:クラウドの優位性や特徴、パブリッククラウドのシェア状況			3
	3	アカウント開設作業(AWS Educate StarterAccount)			1
	4	【AWS基礎】01:仮想サーバの構築(EC2)、基礎座学内容の確認			10
	5	【AWS基礎】02:ネットワークインフラ構築、セキュリティ設定(VPC)			3
	6	【AWS基礎】03:アカウント管理(認証・認可)(IAM)			2
	7	【AWS基礎】04:マネージドデータベース構築、利用(RDS,DynamoDB)			10
	8	【AWS基礎】05:ストレージサービス構築、利用(S3,EFS)			10
	9	【AWS基礎】06:ネットワークサービス利用(CloudFront,Route53等)			10
	10	【AWS基礎】07:スケーリング(AutoScaling、CloudWatch)			5
	11	【AWS基礎】08:基礎講座の振り返り実習(成果物の提出)			20
	12	夏休み			
	13	【応用技術】01:コンテナ技術基礎習得			10
	14	【応用技術】02:サーバレス入門			20
	15	オリエンテーション:チーム学習のスタート(目標決め)			5
	16	【チーム学習】01:各チームでの活動(制作作業やイベント参加など)			50
	17	【チーム学習】02:制作物発表(成果物の提出)			10
	18	まとめ			5
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	Webアプリケーションの脆弱性を理解し、セキュリティに配慮した設計・開発ができるWebアプリケーション開発エンジニアの育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模なWebアプリケーション開発を行うことができる。</li> <li>・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる。</li> <li>・ツールを用いて脆弱性を検出し、発見した脆弱性に対して対策を行うことができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	開発演習環境構築			3
	3	HTML/CSS基礎			10
	4	PHP基礎			40
	5	オリジナルWebアプリケーション制作			25
	6	プレゼンテーション			10
	7	Webアプリケーションの脆弱性について			20
	8	脆弱性診断ツール演習			10
	9	Webアプリケーションの脆弱性対策			25
	10	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断			10
	11	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断結果に対する修正			5
	12	プレゼンテーション			15
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	Web学習教材(Ping-t)				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク技術の概要説明が出来るようになる。</li> <li>・中・小規模のネットワーク構築が出来る。</li> <li>・ネットワーク構築際のトラブルシューティングが出来る。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			10
	4	LANスイッチングの基礎			10
	5	スイッチ設定実習			30
	6	ルーティングの基礎			10
	7	ルーター設定実習			30
	8	ネットワーク構築実習			82
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(学びなおし)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得</li> <li>・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	目標を進める			85
	4	進捗率の確認			2
	5	目標を進める			84
	6	進捗率の確認			2
	合計時間数				175
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度50pt、課題達成率50pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(国家試験取得)	担当者	福士 とよみ、他	科目必修区分	必修
授業概要	基本情報技術者試験の出題範囲の演習を元に、各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	基本情報技術者試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	2	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	3	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	4	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	5	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	6	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	7	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	8	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	9	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	10	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	11	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	12	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	13	前期 評価試験			6
	14	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	15	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	16	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	17	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	18	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	19	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	20	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	21	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	22	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	23	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	24	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	25	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	26	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	27	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	28	後期 評価試験			6
	29	まとめ・予備			3
	合計時間数				175
教科書	過去問題・オリジナル問題・模擬試験(市販のもの)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、前期評価試験40pt、後期評価試験40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ	担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Javaプログラマ Bronze試験に向けて演習を含めた学習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Java言語の基本文法について説明ができる。</li> <li>オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。</li> <li>「抽象クラス」「インターフェース」などJavaの機能について説明ができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第7章 オブジェクト指向			6
	2	第8章 インスタンスとクラス			6
	3	第10章 継承			8
	4	第11章 高度な継承			8
	5	第12章 多態性			8
	6	第13章 カプセル化			8
	7	第14章 Javaを支えるクラスたち			8
	8	第15章 文字列と日付の扱い			8
	9	第17章 例外			8
	10	第18章 まだまだ広がるJavaの世界			8
	11	Bronze対策(Javaの基本文法)			18
	12	Bronze対策(メソッド、クラス、抽象クラス、インターフェース)			20
	13	Bronze対策(模擬試験と解説)			20
	合計時間数				134
教科書	スッキリわかるJava入門、徹底攻略Java SE Bronze 問題集				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度(20点) 評価試験(40点) 期末試験(40点)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	データベース入門(OSS-DB)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	PostgreSQLデータベースを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSアクセスするための標準言語であるSQL言語の書き方を学ぶ。基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を学習する。PostgreSQLを使った実習を通じて、実践的な学習を行う。				
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入			1
	2	1章 オープンソースデータベースの一般的特徴 一般的特徴、ライセンス、コミュニティと情報収集			2
	3	2章 データベースの基礎知識 データベースマネジメントシステム、データモデル、データベース設計			4
	4	正規化			4
	5	3章 インストール PostgreSQLのインストール、データベースクラスタ、データベース			6
	6	4章 標準付属ツール pg_ctl, psql			12
	7	5章 設定ファイル 接続と認証、クライアント接続デフォルト、エラー報告とログ取得、SET文/SHOW文の使い方			13
	8	6章 バックアップとリストア バックアップ・リストアコマンド、PITR			10
	9	7章 基本的な運用管理 ユーザー管理、VACUUM、情報スキーマ、権限			16
	10	8章 SQLとオブジェクト テーブルの定義、パーティション、シーケンス、ビュー、インデックス、関数とプロシージャ、テーブルスペース、マテリアライズドビュー			28
	11	9章 組み込み関数と演算子			10
	12	10章 トランザクション 制御コマンド、トランザクション分離性、ロック			10
	13	検定試験対策 模擬試験、問題集			40
	14	検定試験受験			2
	合計時間数				158
教科書	OSS教科書 OSS-DB Silver(翔泳社) 徹底攻略 OSS-DB Silver 問題集(インプレスジャパン) 最強WEB問題集OSS-DB Silver(株式会社Ping-t)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題 WEB問題集による自己学習				
成績評価方法	出席20%、課題30%、確認テスト30%、検定試験20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	Web開発実習(HTML)	担当者	山川・城間	科目必修区分	必修
授業概要	インターネットの世界で必須のアプリケーションであるWebの概要と、構築に持ち入れられるHTMLの基礎、および周辺技術を理解することを目的とする。Web技術の基礎、HTML・CSSの基本的構文で様々な環境閲覧など学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットおよびWebの概要を説明できる。</li> <li>・HTML5の主な各要素の意味、記述方法を説明できる。</li> <li>・CSS3の表現方法と記述方法を説明できる。</li> <li>・簡単なWebページを作成することができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	1章 Webサイト制作の事前準備			1
	3	2章 HTMLの基本			10
	4	3章 CSSの基本			10
	5	4章 Webサイトの作成			10
	6	検定対策 : 過去問1回~5回(解説解答含む)			12
	7	検定試験受験 : サーティファイWebクリエイター能力認定試験			4
	8	5章 レスポンシブ対応			3
	9	6章 Webサイトの集客			3
	10	実習課題 : オリジナルWebサイト制作とプレゼンテーション			20
	合計時間数				74
教科書	ゼロからわかる HTML&CSS 超入門 Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集				
時間外 学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価 方法	授業態度 20pt、評価試験 40pt、制作物 40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	Web開発実習(PHP)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PHPを用いたWebアプリケーション開発手法について学ぶ</li> <li>・PHPだけでなくHTMLやWeb関連技術などの基本を学習する</li> </ul>				
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる 2,PHP・MySQLを連携した、Webアプリケーションの作成ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	序章:はじめに(オンライン予約システム開発について)			1
	2	1章:webアプリケーションの概要と開発環境の構築			1
	3	2章:HTML5によるwebページ作成			6
	4	3章:PHPの初歩(PHPの基本、仕組みなど)			10
	5	4章:データベースの利用(MySQLデータベースの使い方など)			10
	6	5章:オンライン予約システムの実装 ~トップページから部屋詳細表示~			8
	7	6章:オンライン予約システムの実装 ~予約機能~			10
	8	7章:オンライン予約システムの実装 ~予約管理機能~			12
	9	終章:おわりに			1
	10	作品制作実習			39
		合計時間数			
教科書	30時間アカデミックPHP入門(実況出版)				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	出席20%、課題30%、確認テスト30%、作品提出20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	システム構築技術 I (Linuc101)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。演習を行いながら基本的知識を習得し最終的にはLinux101に合格する				
到達目標	1.Linuxのインストールが出来る。 2.基本的コマンドの実行、ユーザー管理、ネットワーク管理などが行える。 3.資格試験Linux101試験に合格する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入イントロ(市場状況・授業の目的、カリキュラム説明、授業方法説明)			2
	2	演習::Linux環境の構築(仮想環境の設定→ゲストOSインストール)			4
	3	第1章::Linuxのインストールと仮想マシン・コンテナの利用			6
	4	第1章::まとめプリント			2
	5	第2章::ファイル・ディレクトリの操作と管理			8
	6	第2章::まとめプリント			2
	7	第3章::GNU & UNIXコマンド			10
	8	第3章::まとめプリント			2
	9	第4章::リポジトリとパッケージ管理			14
	10	第4章::パッケージ管理実習			4
	11	第4章::まとめプリント			2
	12	第5章::ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			14
	13	第5章::まとめプリント			2
	14	第6章::101 模擬試験			4
	15	試験対策 :: スピードマスター			12
	16	試験対策 :: Ping-T			35
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				123
教科書	Linux教科書LinuCレベル1 Version10対応、LinucLevel1スピードマスター問題集				
時間外学習	オンライン学習サイト Ping-Tで自習				
成績評価方法	各章まとめプリント採点、演習課題提出状況、オンライン学習サイトPingTでの進捗状況 資格受験時の特典なども考慮				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 12年				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、実習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ入門(Security+)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	情報処理技術者の主要な要素技術である情報セキュリティについて、暗号化、認証などの基本的な技術に加え、ネットワークセキュリティやホストセキュリティなど、幅広い内容を理解する。また、どのような状況においてはどのように対処すべきかといった、マネジメントについても学習する。				
到達目標	1. 情報処理の主要な要素技術の1つ「情報セキュリティ」についての説明ができる 2. ComTIA Security+ の試験に合格し、資格を取得することができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入(授業目的・カリキュラム説明・取得目標検定説明)			0.5
	2	1章 セキュリティの基礎			2.5
	3	2章 暗号化			12
	4	2章 暗号化実習(秘密鍵と公開鍵)			1
	5	3章 認証			7
	6	3章 認証実習(パスワード解析:John The Ripper)			1
	7	4章 ネットワークセキュリティ			10
	8	5章 脅威と対策			16
	9	5章 脅威と対策実習(Webシステム驚異の検証:EasyBuggy、スニフアー実習)			2
	10	6章 ホストセキュリティ			12
	11	6章 ホストセキュリティ実習(脆弱性分析、ポートスキャンやセキュリティスキャナ)			1
	12	7章 セキュリティマネジメント			10
	13	資格試験対策 章ごとの復習演習問題・			20
	14	シミュレーション問題の説明・試験受験・予備			10
	15	まとめ(授業内容についてのまとめ)			1
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				106
教科書	ComTIA Security+ テキスト 実務に役立つ情報セキュリティの基礎(TAC株式会社)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題・資格試験受験に向けた勉強 補助教材:CompTIA Labs for Security+(試験番号:SY0-501) Individual License「日本語版」				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト40pt、資格試験40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 3年 Cisco Networking Academy Instructor Trainer				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、講話、リレーションなど			3
	2	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			3
	3	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			4
	合計時間数				10
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (Linuc102)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。演習を行いながら基本的知識を習得し最終的にはLinux102に合格する				
到達目標	1.Linuxのインストールが出来る。 2.基本的コマンドの実行、ユーザー管理、ネットワーク管理などが行える。 3.資格試験Linux102試験に合格する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入イントロ(授業の目的・カリキュラム説明・授業方法の説明)			2
	2	【おさらい】第1章::システムアーキテクチャ			6
	3	【おさらい】第2章::Linuxのインストールとパッケージ管理			6
	4	第7章::シェルとシェルスクリプト			4
	5	第7章::実習(シェルスクリプト作成)			6
	6	第7章::まとめプリント			2
	7	第8章::ネットワークの基礎			4
	8	第8章::まとめプリント			2
	9	第9章::システム管理			4
	10	第9章::まとめプリント			2
	11	第10章::必須システムサービス			4
	12	第10章::まとめプリント			2
	13	第11章::セキュリティ			6
	14	第11章::実習(SSH::外部サイトの運用管理)			6
	15	第11章::まとめプリント			2
	16	第12章::オープンソースの文化			4
	17	第12章::まとめプリント			2
	18	第13章::102 模擬試験			4
	19	試験対策 :: スピードマスター			4
	20	試験対策 :: Ping-T			22
	21				
	22				
	23				
24					
	合計時間数				94
教科書	Linux教科書LinuCレベル1 Version10対応、LinucLevel1スピードマスター問題集				
時間外学習	オンライン学習サイト Ping-Tで自習				
成績評価方法	各章まとめプリント採点、演習課題提出状況、オンライン学習サイトPingTでの進捗状況 資格受験時の特典なども考慮				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 12年				



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	C言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通して、C言語を習得しハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C言語でプログラムを書けるようになる</li> <li>・EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる</li> <li>・チームでの作業を通じてチームワークを見につける</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(入出力、選択、反復、関数、配列、ポインタ)			30
	3	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			10
	4	EV3 プログラミング(Scratch)			15
	5	EV3 プログラミング(C言語)			60
	6	コース走行			40
	7	UML			15
	合計時間数				175
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外 学習					
成績評価 方法	授業態度30pt、課題提出40pt、評価試験30pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(クラウド)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	パブリッククラウドを利用し構築技術を体系的に学習することで、クラウドエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。また、dockerによるサーバ構築技術を学習することでコンテナ型仮想環境サービスを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリッククラウドの概要説明が出来るようになる。</li> <li>パブリッククラウドを用いて簡単なWebサービスのインフラ構築ができる。</li> <li>コンテナ技術を用いてアプリケーションコンテナの構築や公開ができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	基礎座学:クラウドの優位性や特徴、パブリッククラウドのシェア状況			3
	3	アカウント開設作業(AWS Educate StarterAccount)			1
	4	【AWS基礎】01:仮想サーバの構築(EC2)、基礎座学内容の確認			10
	5	【AWS基礎】02:ネットワークインフラ構築、セキュリティ設定(VPC)			3
	6	【AWS基礎】03:アカウント管理(認証・認可)(IAM)			2
	7	【AWS基礎】04:マネージドデータベース構築、利用(RDS,DynamoDB)			10
	8	【AWS基礎】05:ストレージサービス構築、利用(S3,EFS)			10
	9	【AWS基礎】06:ネットワークサービス利用(CloudFront,Route53等)			10
	10	【AWS基礎】07:スケーリング(AutoScaling、CloudWatch)			5
	11	【AWS基礎】08:基礎講座の振り返り実習(成果物の提出)			20
	12	夏休み			
	13	【応用技術】01:コンテナ技術基礎習得			10
	14	【応用技術】02:サーバレス入門			20
	15	オリエンテーション:チーム学習のスタート(目標決め)			5
	16	【チーム学習】01:各チームでの活動(制作作業やイベント参加など)			50
	17	【チーム学習】02:制作物発表(成果物の提出)			10
	18	まとめ			5
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	Webアプリケーションの脆弱性を理解し、セキュリティに配慮した設計・開発ができるWebアプリケーション開発エンジニアの育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模なWebアプリケーション開発を行うことができる。</li> <li>・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる。</li> <li>・ツールを用いて脆弱性を検出し、発見した脆弱性に対して対策を行うことができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	開発演習環境構築			3
	3	HTML/CSS基礎			10
	4	PHP基礎			40
	5	オリジナルWebアプリケーション制作			25
	6	プレゼンテーション			10
	7	Webアプリケーションの脆弱性について			20
	8	脆弱性診断ツール演習			10
	9	Webアプリケーションの脆弱性対策			25
	10	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断			10
	11	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断結果に対する修正			5
	12	プレゼンテーション			15
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	Web学習教材(Ping-t)				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク技術の概要説明が出来るようになる。</li> <li>・中・小規模のネットワーク構築が出来る。</li> <li>・ネットワーク構築際のトラブルシューティングが出来る。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			10
	4	LANスイッチングの基礎			10
	5	スイッチ設定実習			30
	6	ルーティングの基礎			10
	7	ルーター設定実習			30
	8	ネットワーク構築実習			82
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(学びなおし)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得</li> <li>・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	目標を進める			85
	4	進捗率の確認			2
	5	目標を進める			84
	6	進捗率の確認			2
	合計時間数				175
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度50pt、課題達成率50pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(国家試験取得)	担当者	福士 とよみ、他	科目必修区分	必修
授業概要	基本情報技術者試験の出題範囲の演習を元に、各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	基本情報技術者試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	2	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	3	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	4	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	5	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	6	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	7	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	8	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	9	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	10	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	11	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	12	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	13	前期 評価試験			6
	14	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	15	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	16	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	17	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	18	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	19	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	20	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	21	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	22	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	23	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	24	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	25	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	26	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	27	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	28	後期 評価試験			6
	29	まとめ・予備			3
	合計時間数				175
教科書	過去問題・オリジナル問題・模擬試験(市販のもの)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、前期評価試験40pt、後期評価試験40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津、他	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方や選考試験向けの準備について学習・演習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己分析や企業研究など自発的に取り組むことができる</li> <li>基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる</li> <li>選考試験に向けての必要最低限の準備ができる(履歴書、面接準備)</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的、センスアップセミナーの説明など)			1
	2	履歴書作成			1
	3	自己分析(必要性の理解と実践)			6
	4	<センスアップセミナーに向けての準備>			
	5	自己PR文の作成			2
	6	その他質疑集作成			3
	7	面接や受付での立ち振る舞い			10
	8	<就職活動に向けての準備>			
	9	面接試験実践(本質の理解)			2
	10	適性試験の種類と勉強法(冬休み前までに実施)			1
	11	作文試験のポイント(冬休み前までに実施)			1
	12	社会人になるための心の準備			1
	13	グループディスカッションの進め方と役割、実践			8
	14	オンライン面接のポイント			1
	15	ビジネスメールの書き方			1
	16	<就職活動実践>			
	17	求人票の見方とポイント			2
	18	求職票の記入、学校求人への申込方法、報告書の提出、証明書類の発行			2
	19	企業情報のまとめ方			2
	20	志望動機の作り方			2
	21	選考試験を準備および注意点(書類の準備、電話のかけ方、辞退について)			1
	22	<イベント>			
	23	センスアップセミナー			5
	24	就活キックオフ			5
	25	業界研究セミナー			3
	26	kbc主催合同企業説明会への参加			15
	27	インターンシップへの参加(任意)			
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	履歴書作成、面接質疑集作成、面接練習、適性検査の勉強				
成績評価方法	履歴書完成度(25%)、提出物提出状況(25%)、面接テスト(25%)、レポート(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	セキュリティ入門(Security+)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	情報処理技術者の主要な要素技術である情報セキュリティについて、暗号化、認証などの基本的な技術に加え、ネットワークセキュリティやホストセキュリティなど、幅広い内容を理解する。また、どのような状況においてはどのように対処すべきかといった、マネジメントについても学習する。				
到達目標	1. 情報処理の主要な要素技術の1つ「情報セキュリティ」についての知識が身についている 2. ComTIA Security+ の試験に合格し、資格を取得する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入(授業目的・カリキュラム説明・取得目標検定説明)			0.5
	2	1章 セキュリティの基礎			3.5
	3	2章 暗号化			12
	4	2章 暗号化実習(秘密鍵と公開鍵)			1
	5	3章 認証			7
	6	3章 認証実習(パスワード解析:John The Ripper)			1
	7	4章 ネットワークセキュリティ			10
	8	5章 脅威と対策			18
	9	5章 脅威と対策実習(Webシステム驚異の検証:EasyBuggy、スニファー実習)			2
	10	6章 ホストセキュリティ			12
	11	6章 ホストセキュリティ実習(脆弱性分析、ポートスキャンやセキュリティスキャナ)			1
	12	7章 セキュリティマネジメント			13
	13	資格試験対策 章ごとの復習演習問題・			25
	14	シュミレーション問題の説明・試験受験・予備			8
	15	まとめ(授業内容についてのまとめ)			1
	合計時間数				115
教科書	ComTIA Security+ テキスト 実務に役立つ情報セキュリティの基礎(TAC株式会社)				
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題・資格試験受験に向けた勉強				
	補助教材:CompTIA Labs for Security+(試験番号:SY0-501) Individual License「日本語版」				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト40pt、資格試験40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム開発実習(応用)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	システム開発開発を行う際の設計について、実際にWebアプリケーションを作成することによって学習する。システム開発の上流工程(システム設計)を体験し、Webアプリケーションを作成する作業を通して、SEの仕事内容について学習する。				
到達目標	1. システム設計の外部設計(DB設計、画面設計)のドキュメント作成を行う 2. UMLでのクラス詳細設計およびテスト仕様書の作成を行う 3. システム開発において単体テスト、結合テスト、障害報告、適格性確認、レビューを行う				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要説明、実習環境の確認、シラバス、テキスト、クラスルーム			2
	2	【講義】1. システム開発演習の概要			2
	3	【講義】2. ソフトウェア要件定義			2
	4	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-1 入出力インタフェース設計			2
	5	(演習1) 画面レイアウト設計			6
	6	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-2 データベース設計			2
	7	(演習2) データベースのテーブル作成			6
	8	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-3 クラス概要設計 3-4 適格性テスト			2
	9	(演習3) データベースの各テーブルに格納するデータのCSVファイル作成			4
	10	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-1 クラス詳細設計			8
	11	(演習4) シーケンス図を完成させる			6
	12	(演習5) 詳細クラス図を完成させる			6
	13	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-1 クラス詳細設計 パッケージ図、クラス仕様書			2
	14	(演習6) ソースファイルの作成 1			8
	15	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-2 ソフトウェア結合の準備			2
	16	(演習7) 結合テスト仕様書を完成させる			6
	17	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-2 ソフトウェア結合の準備			2
	18	【講義】5. ソフトウェアコードを作る			2
	19	(演習8) ソースファイルの作成 2			8
	20	【講義】5. ソフトウェアコード作成及びテスト			2
	21	(実習9) 単体テスト仕様書を完成させる			7
	22	【講義】6. 関連資料 6-1 レビュー関連資料 6-2 障害関係資料			2
	23	予備時間			8
	合計時間数				97
教科書	自作プリント、スライド、課題フォーマットファイル				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習課題は時間外学習にて対応すること				
成績評価方法	出席率(33%)、課題提出率(33%)、課題評価得点の平均値(34%) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	サーバ運構築実習	担当者	山川 明美	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuCの知識をもとに、Linuxサーバ構築技術を身につける。</li> <li>・Windowsサーバ構築の基礎知識を身につける。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LinuxのVPSでminimalインストール状態から、各種サービスを構築できる。</li> <li>・WindowsADの構築の基礎ができるようになる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の趣旨説明、実習環境準備			4
	2	kvm環境学習、ブリッジ構築実習、ネットワークの学習			4
	3	LVM			4
	4	バックアップ			4
	5	Linuxを、minimal状態から始めて、ssh/http/httpsを稼働させる。			4
	6	ドメイン設定学習			4
	7	SSL設定実習			4
	8	php/mysqlのインストール・設定、LAMP技術			4
	9	画像掲示板デプロイ学習			4
	10	WordPressインストール、および、php7アップグレード			4
	11	メールサーバ構築			4
	12	Xwikiインストール、Apacheリバースプロキシ			4
	13	TigerVNCインストール			4
	14	WindowsAD、環境作成			4
	15	WindowsAD, DC1、DC2、FileServer、クライアントインストール			4
	16	OU、GPO、ファイルアクセス権限設定、シングルサインオン			4
	17	LinuxSamba			4
	18	Redmine			2
	19	VSFTP			4
	20	GIT			4
	21	GITLAB			4
	22	動画サイト構築			4
	23	成績評価試験			3
	合計時間数				89
教科書	各種資料				
時間外学習	時間内に収まらなかった作業				
成績評価方法	実技評価(100pt)				
	成績評価試験				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	ログ分析実習 (Splunk)	担当者	大城 全揮、他	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Splunkの環境構築ができる。</li> <li>•Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。</li> <li>•Splunkに対して拡張機能の開発を行うことができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入			1
	2	実習環境構築			3
	3	Splunkサンプルデータの取り込みと基本操作			8
	4	Fundamentals I の登録と学習方法の説明			2
	5	1章 What is Machine Data			1
	6	2章 What is Splunk			1
	7	3章 Installing Splunk			1
	8	4章 Getting Data In			2
	9	5章 Basic Searching			2
	10	6章 Using Fields			2
	11	7章 Best Practices			2
	12	8章 SPL Fundamentals			2
	13	9章 Transforming Commands			2
	14	10章 Reports and Dashboards			2
	15	11章 Pivot and Datasets			3
	16	12章 Lookups			3
	17	13章 Scheduled Reports and Alerts			3
	18	Fundamentals I Final Exam			4
	19	実習環境構築(再構築)			3
	20	Splunkハンズオン			24
	21	実習環境構築(再構築)			3
	22	Splunkハンズオン(復習)			6
	23	ログ分析について			6
	24	ログ分析演習(ダッシュボード作成)			5
	25	課題:プレゼンテーション			26
	26	Splunkによる機械学習体験			18
	合計時間数				135
教科書	•e-Learning教材(Splunk Fundamentals I) ・自作教材				
時間外 学習	Splunk Core Certified User受験に向けた学習				
	成果物作成に向けた学習				
成績評価 方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 3年 Cisco Networking Academy Instructor Trainer				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語Ⅲ(Python)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	プログラミング言語 Pythonの文法を、オブジェクト指向を含めて理解する。実習では、練習問題を通して、具体的なプログラミングスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ある程度のソースコードを読むことができる。</li> <li>•基本的なプログラムが作成できる。</li> <li>•Pythonエンジニア育成推進協会主催 Python 3 エンジニア認定基礎試験 に合格できる</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	開発環境の構築			1
	2	科目の導入			1
	3	1. Python の基礎			2
	4	2. Python の基本文法			8
	5	3. 制御構文			6
	6	4. 関数			6
	7	5. データ構造			10
	8	「関数」のまとめ実習課題			6
	9	6. オブジェクト指向プログラミング			12
	10	「クラス」のまとめ実習課題			6
	11	7. 標準ライブラリ			10
	12	Python 3 エンジニア認定基礎試験 試験対策			10
	13	8. パッケージとモジュール			2
	14	評価テスト			2
	15	予備			7
	合計時間数			89	
教科書	わかる Python [決定版] (ソフトバンククリエイティブ) 自作教材				
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった実習課題、知識試験受験・成果物作成に向けた勉強				
成績評価 方法	授業態度20pt、提出課題40pt、評価テスト40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、講話、リレーションなど			3
	2	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			3
	3	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			4
	合計時間数				10
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	卒業研究	担当者	赤羽 利夫、他	科目必修区分	必修
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究テーマに沿った技術の習得</li> <li>研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入			1
	2	研究テーマの選択			24
	3	研究テーマについて理解を深める			120
	4	研究テーマに沿った開発及び発表準備			120
	5	発表会			5
	合計時間数				270
教科書	なし				
時間外学習	研究テーマについての自己学習				
成績評価方法	授業態度(30pt)、成果物(70pt)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	C言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通して、C言語を習得しハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C言語でプログラムを書けるようになる</li> <li>・EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる</li> <li>・チームでの作業を通じてチームワークを見につける</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(入出力、選択、反復、関数、配列、ポインタ)			30
	3	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			10
	4	EV3 プログラミング(Scratch)			15
	5	EV3 プログラミング(C言語)			60
	6	コース走行			40
	7	UML			15
	合計時間数				175
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外 学習					
成績評価 方法	授業態度30pt、課題提出40pt、評価試験30pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(クラウド)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	パブリッククラウドを利用し構築技術を体系的に学習することで、クラウドエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。また、dockerによるサーバ構築技術を学習することでコンテナ型仮想環境サービスを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリッククラウドの概要説明が出来るようになる。</li> <li>パブリッククラウドを用いて簡単なWebサービスのインフラ構築ができる。</li> <li>コンテナ技術を用いてアプリケーションコンテナの構築や公開ができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	基礎座学:クラウドの優位性や特徴、パブリッククラウドのシェア状況			3
	3	アカウント開設作業(AWS Educate StarterAccount)			1
	4	【AWS基礎】01:仮想サーバの構築(EC2)、基礎座学内容の確認			10
	5	【AWS基礎】02:ネットワークインフラ構築、セキュリティ設定(VPC)			3
	6	【AWS基礎】03:アカウント管理(認証・認可)(IAM)			2
	7	【AWS基礎】04:マネージドデータベース構築、利用(RDS,DynamoDB)			10
	8	【AWS基礎】05:ストレージサービス構築、利用(S3,EFS)			10
	9	【AWS基礎】06:ネットワークサービス利用(CloudFront,Route53等)			10
	10	【AWS基礎】07:スケーリング(AutoScaling、CloudWatch)			5
	11	【AWS基礎】08:基礎講座の振り返り実習(成果物の提出)			20
	12	夏休み			
	13	【応用技術】01:コンテナ技術基礎習得			10
	14	【応用技術】02:サーバレス入門			20
	15	オリエンテーション:チーム学習のスタート(目標決め)			5
	16	【チーム学習】01:各チームでの活動(制作作業やイベント参加など)			50
	17	【チーム学習】02:制作物発表(成果物の提出)			10
	18	まとめ			5
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	Webアプリケーションの脆弱性を理解し、セキュリティに配慮した設計・開発ができるWebアプリケーション開発エンジニアの育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模なWebアプリケーション開発を行うことができる。</li> <li>・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる。</li> <li>・ツールを用いて脆弱性を検出し、発見した脆弱性に対して対策を行うことができる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	開発演習環境構築			3
	3	HTML/CSS基礎			10
	4	PHP基礎			40
	5	オリジナルWebアプリケーション制作			25
	6	プレゼンテーション			10
	7	Webアプリケーションの脆弱性について			20
	8	脆弱性診断ツール演習			10
	9	Webアプリケーションの脆弱性対策			25
	10	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断			10
	11	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断結果に対する修正			5
	12	プレゼンテーション			15
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	Web学習教材(Ping-t)				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク技術の概要説明が出来るようになる。</li> <li>・中・小規模のネットワーク構築が出来る。</li> <li>・ネットワーク構築際のトラブルシューティングが出来る。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			10
	4	LANスイッチングの基礎			10
	5	スイッチ設定実習			30
	6	ルーティングの基礎			10
	7	ルーター設定実習			30
	8	ネットワーク構築実習			82
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(学びなおし)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得</li> <li>・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	目標を進める			85
	4	進捗率の確認			2
	5	目標を進める			84
	6	進捗率の確認			2
	合計時間数				175
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度50pt、課題達成率50pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(国家試験取得)	担当者	福士 とよみ、他	科目必修区分	必修
授業概要	基本情報技術者試験の出題範囲の演習を元に、各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	基本情報技術者試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	2	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	3	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	4	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	5	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	6	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	7	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	8	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	9	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	10	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	11	午前問題の計算問題 と セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	12	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	13	前期 評価試験			6
	14	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	15	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	16	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	17	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	18	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	19	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	20	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	21	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	22	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	23	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	24	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	25	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	26	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	27	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	28	後期 評価試験			6
	29	まとめ・予備			3
	合計時間数				175
教科書	過去問題・オリジナル問題・模擬試験(市販のもの)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、前期評価試験40pt、後期評価試験40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	前期
授業科目	仮想化概論(Cloud Essentials)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	仮想化技術を元にしたクラウド基盤について、基本的な仕組みや技術要素、選定シーンや構築手法について幅広く内容を理解する。また、ビジネスとしてどう活用するか判断し、クラウドプロバイダーの選定や運用方法について学習する。				
到達目標	1.クラウドサービスの特徴、ビジネス上の意義が把握でき説明できる。 2.技術的な観点からみたクラウドタイプの判別。そのタイプを元にビジネス上での選択が出来る。 3.CompTIA Cloud Essentials+試験に合格し資格を取得する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	クラウドコンピューティングの概念の理解			8
	2	クラウドビジネスの原則と応用			8
	3	クラウドの設計や移行に関するアドバイス			8
	4	クラウドの運用			10
	5	クラウドガバナンスの管理			10
	6	Cloud Essentials+対策			16
	7	Cloud Essentials+受験			5
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				65
教科書	CompTIA Cloud Essentials+ Self-Paced Study Guide				
時間外学習	Microsoft Learn(クラウド関連の学習)				
成績評価方法	授業態度 20pt、課題提出 40pt、評価試験 40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	社内SE (プログラマ歴 含む) 7年			

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅲ(Python)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	プログラミング言語 Pythonの文法を、オブジェクト指向を含めて理解する。実習では、練習問題を通して、具体的なプログラミングスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ある程度のソースコードを読むことができる。</li> <li>•基本的なプログラムが作成できる。</li> <li>•Pythonエンジニア育成推進協会主催 Python 3 エンジニア認定基礎試験 に合格できる</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	開発環境の構築			1
	2	科目の導入			1
	3	1. Python の基礎			2
	4	2. Python の基本文法			8
	5	3. 制御構文			6
	6	4. 関数			6
	7	5. データ構造			8
	8	「関数」のまとめ実習課題			2
	9	6. オブジェクト指向プログラミング			10
	10	「クラス」のまとめ実習課題			2
	11	7. 標準ライブラリ			10
	12	8. パッケージとモジュール			2
	13	評価テスト			2
	14	予備			2
	合計時間数			62	
教科書	わかる Python [決定版] (ソフトバンククリエイティブ) 自作教材				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題、知識試験受験・成果物作成に向けた勉強				
成績評価方法	授業態度20pt、提出課題40pt、評価テスト40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 企業内定を獲得する 2. 社会人になるまでにやっておくべきことを理解し、行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明 (履修に対する動機づけ)			1
	2	未内定者 ・履歴書のブラッシュアップと作成 ・自己PRの内容強化 ・志望動機の内容確認 ・面接の練習 ・就職試験受験後の反省と改善  内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施			16
	合計時間数				17
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	履歴書完成度20pt 面接テスト20pt レポート20pt 報告書提出20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する				
到達目標	・名刺の正しい扱い方が出来る(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・スムーズな来客応対を身につける(エレベーターや応接室での案内の仕方、お茶の出し方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会人としての心構え(身だしなみ、言葉遣い)			2
	2	名刺の取り扱い方			
	3	【演習】名刺の受け方、出し方			4
	4	【演習】同時交換			4
	5	来客応対(接遇とは)			
	6	【演習】案内の仕方(受付→エレベーター→応接室)			8
	7	【演習】お茶の出し方			4
	8	電話応対			
	9	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)			4
	10	【演習】かけ方			4
	合計時間数				30
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円+税 ウイネット)				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					



## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	サーバー運用実習	担当者	山川 明美	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>Linuxサーバで、サイト構築、運用の技術を身につける。</li> <li>Webコンテンツ等の構築公開運用技術を習得する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイト構築・運用のスキルを身に付け、できる仕事の範囲を広げる。</li> <li>レンタルサーバやVPS、ドメイン、SSL証明書の契約手続きができ、サイトを構築運用できる。</li> </ul>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の趣旨説明、実習環境準備			4
	2	システムのライフサイクル、ITILでの業務要件			4
	3	ハードウェア・ソフトウェア諸元管理・ドキュメント			2
	4	レンタルサーバ選定、価格・支払い手段比較			2
	5	VPS選定、価格・支払い手段比較			4
	6	SSL証明書実習			4
	7	ドメイン設定実習			4
	8	PHP,MySQLのUTF-8設定、PHP7への更新			4
	9	WordPressの運用			8
	10	動画掲示板の運用(PHP,MySQL)			4
	11	Java掲示板の運用(JavaServlet,JSP)			4
	12	XWikiの運用			4
	13	ヘルプデスク、RedMine、チケット管理			4
	14	監視・測定ツール			4
	15	契約書各種			2
	16	事例研究			4
	17	成績評価試験			2
	合計時間数				64
教科書	各種資料				
時間外学習	なし				
成績評価 方法	成績評価試験				
	実技提出状況				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム開発実習(応用)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	システム開発開発を行う際の設計について、実際にWebアプリケーションを作成することによって学習する。システム開発の上流工程(システム設計)を体験し、Webアプリケーションを作成する作業を通して、SEの仕事内容について学習する。				
到達目標	1. システム設計の外部設計(DB設計、画面設計)のドキュメント作成を行う 2. UMLでのクラス詳細設計およびテスト仕様書の作成を行う 3. システム開発において単体テスト、結合テスト、障害報告、適格性確認、レビューを行う				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要説明、実習環境の確認、シラバス、テキスト、クラスルーム			2
	2	【講義】1. システム開発演習の概要			2
	3	【講義】2. ソフトウェア要件定義			2
	4	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-1 入出力インタフェース設計			2
	5	(演習1) 画面レイアウト設計			3
	6	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-2 データベース設計			2
	7	(演習2) データベースのテーブル作成			3
	8	【講義】3. ソフトウェア方式設計 3-3 クラス概要設計 3-4 適格性テスト			2
	9	(演習3) データベースの各テーブルに格納するデータのCSVファイル作成			3
	10	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-1 クラス詳細設計			4
	11	(演習4) シーケンス図を完成させる			3
	12	(演習5) 詳細クラス図を完成させる			3
	13	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-1 クラス詳細設計 パッケージ図、クラス仕様書			2
	14	(演習6) ソースファイルの作成 1			4
	15	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-2 ソフトウェア結合の準備			2
	16	(演習7) 結合テスト仕様書を完成させる			4
	17	【講義】4. ソフトウェア詳細設計 4-2 ソフトウェア結合の準備			2
	18	【講義】5. ソフトウェアコードを作る			2
	19	(演習8) ソースファイルの作成 2			4
	20	【講義】5. ソフトウェアコード作成及びテスト			2
	21	(実習9) 単体テスト仕様書を完成させる			5
	22	【講義】6. 関連資料 6-1 レビュー関連資料 6-2 障害関係資料			2
		合計時間数			
教科書	自作プリント、スライド、課題フォーマットファイル				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習課題は時間外学習にて対応すること				
成績評価方法	出席率(33%)、課題提出率(33%)、課題評価得点の平均値(34%) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	仮想化演習 II (AWS)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	仮想化技術を元にしたクラウド基盤について、基礎的な仕組みや技術要素、選定シーンや構築手法について幅広く理解する。その後AmazonAWSサービスの細かいサービス内容を学習し運用技術内容の理解が出来るようにする。				
到達目標	1.クラウドサービスの特徴、ビジネス上の意義が把握でき説明出来る。 2.Amazon Cloud Practitioner試験に合格し資格を取得する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入イントロ(市場状況、導入の目的、カリキュラムや授業方法の説明)			1
	2	AWS ACF :: モジュール 0: AWS Academy Cloud Foundations の紹介			2
	3	AWS ACF :: モジュール 1: クラウドのコンセプト			4
	4	AWS ACF :: モジュール 2: クラウドエコノミクスと請求			4
	5	AWS ACF :: モジュール 3: AWSグローバルインフラストラクチャ			4
	6	AWS ACF :: モジュール 4: クラウドのセキュリティ			2
	7	AWS ACF :: モジュール 5: ネットワークとコンテンツ配信			2
	8	AWS ACF :: モジュール 6: コンピューティング			6
	9	AWS ACF :: モジュール 7:ストレージ			6
	10	AWS ACF :: モジュール 8:データベース			6
	11	AWS ACF :: モジュール 9:クラウドアーキテクチャ			2
	12	AWS ACF :: モジュール 10:自動スケールとモニタリング			8
	13	AWS ACF :: 運用総合演習			6
	14	AWS ACF :: 試験対策(模擬問題、本番対策問題フォーム)			6
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				59
教科書	AWSAcademyオンライン教材				
時間外学習	各個人で予復習できるようにAmazonAWSAcademyトレーニング教材の準備と提供 資格受験に向けた対策授業(対策プリントおよび問題フォーム)				
成績評価方法	章ごとのまとめプリント採点、演習課題提出状況、試験対策での模擬問題採点 各資格の受験時の得点なども考慮				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 12年				

## シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	ビッグデータ統計分析	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	IT系の成長分野の一つであるビッグデータ および 統計分析の基礎を学習する。 プログラミング言語 Pythonと各種ライブラリを実際に使用し、データ分析を行う。				
到達目標	1. ビッグデータ および 統計分析の概要を説明できる。 2. Pythonと各種ライブラリを使った、基礎的なデータ分析のプログラムを作成できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	開発環境の構築(Python授業にて設定済みの予定)・科目の導入			1
	2	Python のライブラリ① Numpy			8
	3	Python のライブラリ② Pandas			8
	4	Python のライブラリ③ Matplotlib			8
	5	統計解析 ① 記述統計			4
	6	統計解析 ② 推定、検定			8
	7	統計解析 ③ 相関			4
	8	回帰分析			5
	9	機械学習 ① 「教師あり学習」			8
	10	機械学習 ② 「教師なし学習」			4
	11	評価テスト			2
	合計時間数				60
教科書	(参考資料) ビッグデータ統計分析(基礎) 自作教材				
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった実習課題、知識試験受験・成果物作成に向けた勉強				
成績評価 方法	授業態度20pt、提出課題40pt、評価テスト40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					